

## 市議会・モニター意見交換会報告書

1 開催日時 令和5年10月17日（火）14：00～15：30

2 開催場所 市役所3階 第2委員会室

3 参加モニター数 2人

4 参加議員 矢田松夫、吉永美子、前田浩司、岡山明

5 意見交換会の主な内容

[モニター] 一般質問について、今回は興味がある話ではなかった。農業関係者としては、異常気象・温暖化対策・SDGsの質問も議員には取り上げてほしい。

[モニター] 一般質問で下を向いて話される議員がいる。原稿を見ながらでは、議員の顔が見えない、声を通らない、思いが伝わらないのではないかな。

[議員] 質問している姿を市民にしっかりと訴えていく。

[モニター] 議会における専門用語や会議の最初での委員会名は略式名とせず、正式名で話していただきたい。（民福ではなく、民生福祉常任委員会と表現していただきたい。）

[モニター] 議場開放、中学生による議会傍聴、中学生議会のような取組を進めていただきたい。児童生徒が議員に一問一答するような形式での対話方式での質問会のようなものはどうか。

[事務局] 小学生の職場体験会があり、議場の見学も予定にあったようだが、時間の都合上中止となったようである。身近に感じられる取組への試みがあったようである。

[議員] 生徒等、若者たちにも、より親しみと関心を持っていただけるように、やり方を工夫しながら、身近に議会が感じられるように進めていく。

[モニター] 議場や委員会室での中継時に、同時文字起こしはできるのか。

[事務局] 話し言葉等、音声から正確に文字を起こすのに、既存のシステムでは問題があり、今後の検討課題である。

[モニター] 車椅子エリアでは議員の顔が見えづらく、見えやすい場所に移動したくなるが、エリア内で移動しても問題ないか。

[事務局] 会議をじゃまするための移動ではないので、問題ない。

[モニター] 議場における手話の導入はどうか。

[議 員] 手話言語条例を制定したが、議会としての取組は進んでいない。

[モニター] 障がい者への配慮が必要であり、私たちの気配りも大事であると自覚している。

6 要望・意見など  
なし

7 今後、検討すべき意見  
制定した手話言語条例にのっとして、議会としての取組を検討すべきである。